

「小学校プログラミング教育研修会」報告書

研修名	小学校プログラミング教育研修会
日 時	令和 5 年 12 月 4 日（月） 15 時 30 分から 17 時 00 分
場 所	北部生涯学習推進センター パソコン室
講 師	太田佐栄子 名桜大学人間健康学部健康情報学科 上級准教授
参加者	9 名

1. 研修の目的

1 人 1 台端末が整備されつつあり、学習指導要領には小学校プログラミングの完全実施を掲げ、児童がプログラミングを体験することが求められてきました。しかし、教師の IT スキル不足により、プログラミングを体験する授業は不十分であることが懸念されています。特に、アフターGIGA で生じる格差が課題となっています。そこで、小学校教員に楽しくプログラミングに向き合うための「プログラミング基礎」を学ぶことを目的として企画しました。

2. 研修の内容

研修 ①「プログラミング教育ってなに？」

研修 ②「Scratch3.0 をやってみよう。」

(1) 研修①「プログラミング教育ってなに?」

○なぜ小学校にプログラミング教育を導入するのか

コンピュータを理解し、上手に活用していく力を身につけることは、あらゆる活動において、コンピュータ等を活用することが求められるこれからの社会を生きていく子ども達にとって、将来、どのような職業に就くとしても、極めて重要なものだから。

○コンピュータをより適切、効果的に活用していくためには、その仕組みを知る事が重要。コンピュータは人が命令を与えることで動作する。端的に言えばこの命令が「プログラミング」です。

○小学校プログラミングのねらいと位置付け(小学校プログラミング教育の手引より))

(2)研修②「プログラミング(scratch3.0)をやってみよう」

○4年生が初めてプログラミングやスクラッチをすると想定

○プログラムとは何か、プログラムによってコンピュータを意図したとおりに動かすこと

○スクラッチの基本操作



3. 事後評価アンケートの結果 （提出 9 名 提出率 100%）

(1)研修の内容の理解度	十分理解できた	ある程度理解できた	どちらとも言えない	理解できなかった
参加者評価 (%)	4 (44.4%)	5 (55.6%)	0	0
(2)研修の有用度	十分役に立つ	ある程度役に立つ	どちらとも言えない	役に立たない
参加者評価 (%)	6 (66.7%)	3(33.3%)	0	0

4. 研修者の感想から

○楽しかった♪ やってみたいと思った。ありがとうございました。

○実際に操作しながら、基礎から学べたのでありがたい機会でした。低学年にも分かりやすく教えられるよう、ペアプログラミングから始めていきます！ありがとうございました(^へ

○スクラッチのプログラミングの仕方が、少しわかった。自分でも活用していかないと、すぐに忘れてしまいそうですが…。今後の教育には不可欠ということは理解できました。

○今回このような研修をしていただき、参加してよかったです。小学校教育に携わっているなかで、スクラッチの内容を拝見するのが恥ずかしながら初めてでした。初級編として取り扱っていただき、児童と同じペースで体験することができてわかりやすかったです。子供たちが楽しんで実践できるよう学校に戻っても活用していきたいと思います。本当にありがとうございました。

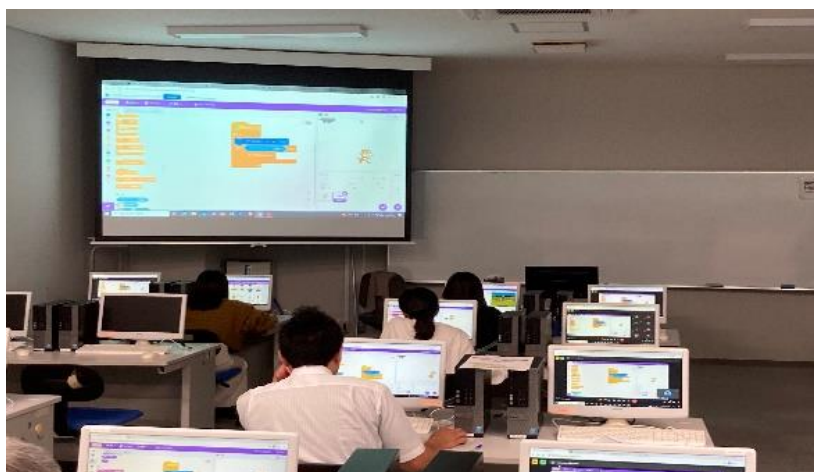
○プログラミングのスクラッチは、前に試したことがあるので、できるかな？と思いましたが、操作が難しくて「子どもに教えることは大変そうだ」と思いましたが、子どもたちに任せて授業して、プログラミングの楽しさを伝えることができたならいいなと思いました。とても勉強になりました。ありがとうございました。

○スクラッチの復習ができ、参考になる資料をたくさん頂きました。ありがとうございます。

5. 今後受けたい研修テーマ

- ・メグビット、ねこにげ、
- ・授業や学習教材としてのクロームブックの活用方法
- ・クロームブックで使えるオンライン学習サイトの紹介等

研修のスライドより抜粋



★今回の研修会は、プログラミングの楽しさや面白さ、達成感などを味わい、授業で活用して欲しいという趣旨で行われました。重要なことは、子供たちに体験の場を設けることです。子供たちは直ぐに上達するという報告が県外の研修会でもありました。一緒に始めましょう！
名桜大学は、先生方を応援します。

報告 2023年12月15日（金）
名桜大学北部教育研修センター